

【市長との地域懇談会 記録】

開催日時 令和元年5月12日(日)
18:00~18:50

まちづくり協議会区域名 高城まちづくりの会

会場 今一色公民館

参加者数 21人



《質問・意見》

旧今一色小学校の校舎は活用されていない。有効活用するにはどうしたらいいのか。あるいは市は何か予定しているのか。

《回答》【市長】

現時点において活用方法は決まっていない。今までに統合した旧小中学校校舎を活用しているのは旧沼木中学校など一部である。地域の皆さんの話をいただきながら進めていきたい。なお、沿岸部の学校は防災機能を持っている。沿岸部は学校の有無にかかわらず、旧校舎の活用法とは別に防災機能は作っていく。

《質問・意見》

旧小学校校舎の活用について、市へ相談に行ったと思うが、公共施設の利活用について優先順位を付けるからという理由で保留にされている。見通しが立ったら再開されると思っていたがその後連絡がない。立ち消えとなることも懸念している。進捗状況等を自治会へ連絡してほしい。

《回答》【市長】

公共施設マネジメントの関係で、地域との話について、進捗状況や予定がどのようなになっているのか調べ自治会へ回答する。

《質問・意見》

伊勢市の障がい者雇用について現状を知りたい。

《回答》【市長】

三重県は平成25年頃まで全国ワースト1位であった。県知事をはじめ県内首長が障がい者雇用を進めている企業の状況を把握し情報共有しながら障がい者雇用を進めてきた。平成28年頃には20数番目位まで上昇した。次の段階として、一時的な雇用にとどまらず、雇用が定着することである。伊勢市では雇用環境の構築に加え、優先調達制度を推進し、5年前は200万円程度の発注が、現在では年間3,000万円以上となっている。

《質問・意見》

先ほど質問のあった小学校の有効活用について、旧役員の要望事項であるなら早期に方向付けを行いたいので、回答をいただきたい。

また、台風接近の際、空家から物が飛んでくる。持ち主への連絡などは自治会では限界がある。市からの働きかけを検討してほしい。

《回答》【市長】

市内の空家は2,900位ある。その内危険度が大きいと考えられる空家は60棟程あり、持ち主を把握し順次連絡しているところである。法改正で行政が強制的に解体できることになったものの、法的手続きに時間がかかるなど課題もある。ご意見をいただきながら少しでも解消していきたい。また、終活の一つとして、不動産をどうしていくのか考える場所も作っていくことも大事である。

《質問・意見》

多目的トイレであっても障がい者が使えないものがある。障がい者側の声を聞きとって建物等のユニバーサルデザインを進めてほしい。

《回答》【市長】

バリアフリー観光事業で改修を行った飲食店では、障がいを持つ利用客だけでなく、高齢従業員が働きやすい建物になったという例がある。また、民間事業者でも障がいの有無に関係なく同じサービスを受けることができるようにする趣旨の障害者差別解消法ができた。これからも民間の皆さんとも話をしながら進めていきたい。